



2003年12月24日

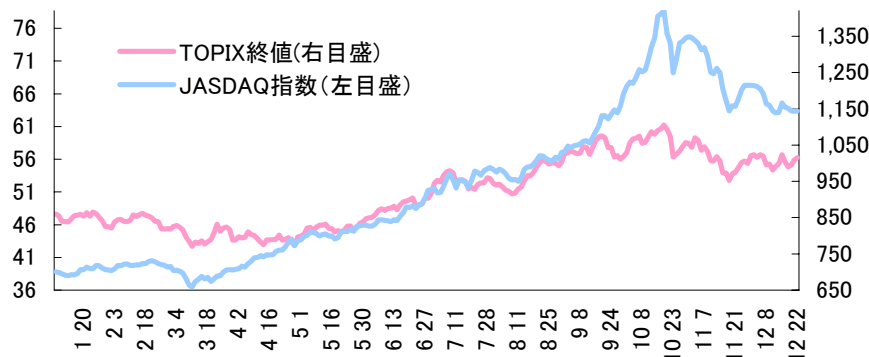
国際キャピタル(株)企業コンサルティング課

1.日米”年末株高”が示唆する希望と課題

①日本株式は、春から秋にかけて上昇を続け、一時は調整色を強めました。最近では堅調な推移を示しています(図表1-1)。2000年以降で初めて年初に比べ年末の株価が高くなります(図表1-2)。この動きは、依然として、年金問題、失業率の高さ、少子高齢化、円高など乗り越えなければならない課題はあるものの、リストラ等の痛みを乗り越え、反転攻勢に向かう兆しが見え始めてきたことを反映しているのではないのでしょうか。しかし、日本のGDPの回復は、過度に輸出に依存している状況にあります(図表1-5)。今後、米国景気が堅調に推移したとしても、為替動向によって企業採算が大きく変動してしまうリスクを内包していることも事実です(図表1-6)。そうしますと、日本が攻勢に転じ、より力強い景気回復へつなげるためには、国際分業のさらなる展開と、内需(特に、消費と設備投資)をいかに回復するかが重要と考えられます。

②一方、米国株も、日本以上に、堅調に推移しており(図表1-3)、やはり、2000年以降初めて年初に比べ年末の株高が予想されます。今年、世界の株式市場の時価総額は急増しており(除く、中国市場)、主要市場の株式時価総額の直近の合計は、23兆5000億ドルと、1年前に比べ約5兆5000億ドル増加しています。しかし、世界経済は、米国へ過度に依存する構図が続いており、その米国は双子の赤字から脱け出せない状況にあります。地政学的リスクの低下する中、ドル安の行方は、最も注視すべき課題といえましょう。

図表1-1 TOPIX・JASDAQ指数推移

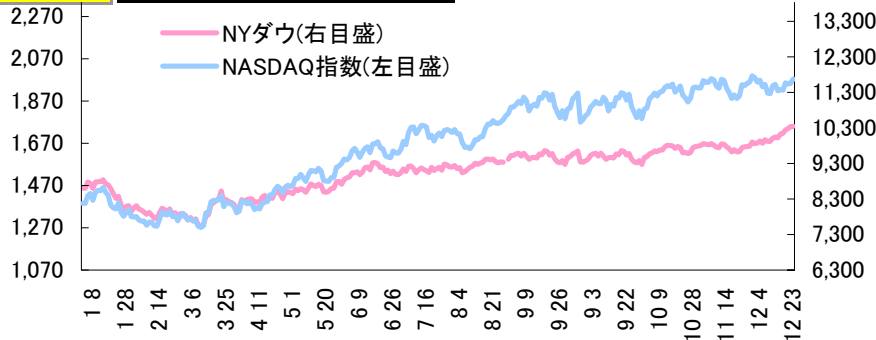


図表1-2 日経ダウ年初・年末株価

年	始値	終値	
1999	13,415.89	18,934.34	○
2000	19,002.86	13,785.69	●
2001	13,691.49	10,542.62	●
2002	10,871.49	8,578.95	●
2003	8,713.33	10,357.90	○

(注)2003年終値は12/24。

図表1-3 NYダウ・NASDAQ指数推移



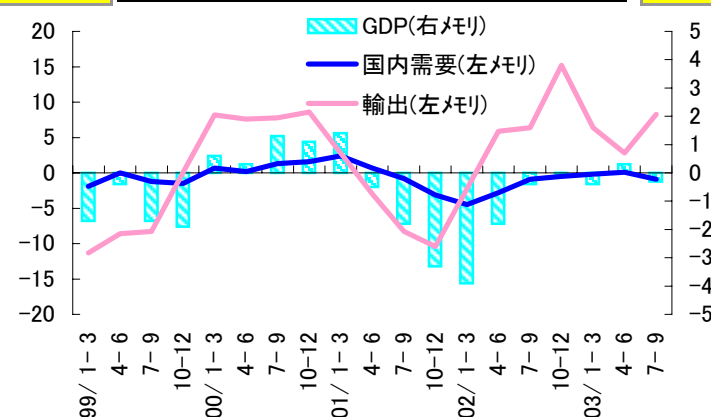
(出所)Yahooファイナンス

図表1-4 NYダウ年初・年末株価

年	始値	終値	
1999	9,212.80	11,497.10	○
2000	11,501.90	10,788.00	●
2001	10,790.90	10,021.60	●
2002	10,021.70	8,341.63	●
2003	8,342.38	10,341.26	○

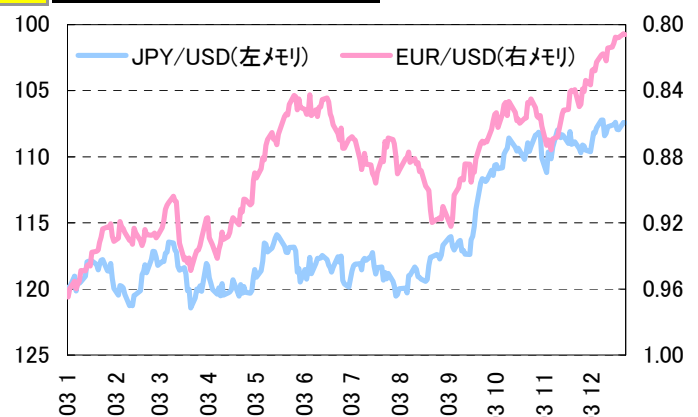
(注)2003年終値は12/23。

図表1-5 日本のGDP推移(前年同期比伸び率名目GDP)



(出所)内閣府

図表1-6 外国為替推移(日本Yen,ユーロ)



(出所)The Pacific Exchange Rate Service

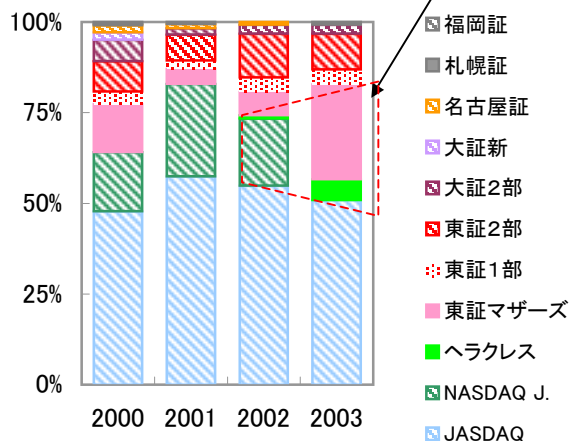
このレポートは経営に関し一般に参考となると考えられる情報の提供を目的としたもので、投資判断の参考となる情報の提供および投資勧誘を目的としたものではありません。資料の作成に際しましては、発行会社の公表資料等、一般に公開され、信頼できると判断した情報源から入手したものを利用しておりますが、資料の正確性、完全性を保証するものではありません。

2. 今年のIPO市場を振り返って

今年のIPO市場を振り返りますと、いくつかの特徴が指摘されます。

- ①NASDAQ JAPANの撤退後、IPO市場の受け皿として東証マザーズが台頭したこと。(図表2-1、2-2)。
- ②公開株価に比べ初値がこれを下回る企業の割合が減少し、逆に、50%以上の値上がりをするケースが増加するという動きが鮮明になったこと(図表2-3)。
- ③大きく値上がりした企業は、小規模であっても将来の成長が期待されるベンチャービジネスが占めたこと(図表2-4)。つまり、新しいビジネスの台頭がより鮮明になったこと。
- ④低下を続けていた株式公開時の資金調達額が上昇に転じました(図表2-5)。しかし、内容を仔細にみますと、調達額5億未満がほぼ半数を占め、一部の企業が50億以上の資金調達を行うという両極化の動きは変わりません(図表2-6)。

図表2-1 市場別公開シェア 東証マザーズの割合増加

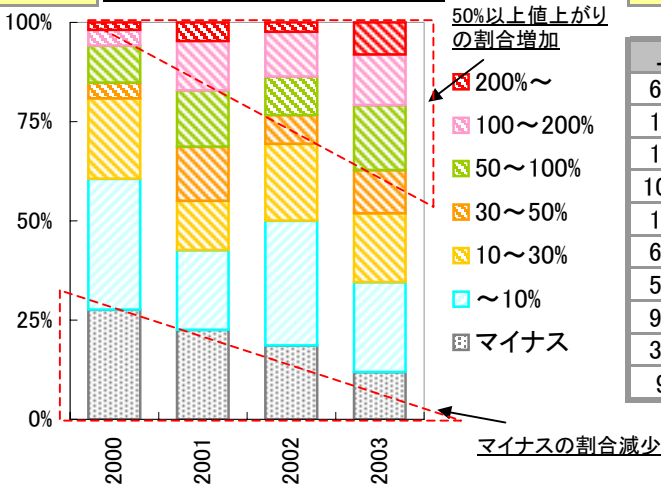


図表2-2 市場別公開会社数

(単位:社)

年	2000	2001	2002	2003
JASDAQ	97	97	68	62
NASDAQ J.	33	43	23	
へラクレス			1	7
東証マザーズ	27	7	8	32
東証1部	7	4	5	5
東証2部	17	12	15	12
大証2部	12	3	3	3
大証新	4			
名古屋証	4	2	1	
札幌証	1	1		
福岡証	1			1
総計	203	169	124	122

図表2-3 公開株価→初値 変動率シェア



図表2-4 公開株価→初値 値上がり上位会社

上場日	コード	銘柄	値上がり率
6月12日	3713	ネットマークス	300%
10月8日	2370	メディネット	260%
10月9日	2371	カカコム	250%
10月16日	2373	ケア21	243%
12月3日	3724	ベリサーブ	227%
6月11日	4925	ハーバー研究所	213%
5月30日	3712	情報企画	204%
9月12日	6679	サイレックス・テクノロジー	203%
3月14日	2766	日本風力開発	200%
9月3日	6721	ウインテスト	180%

(注)対象:2003年株式公開会社

図表2-5 株式公開時調達額の平均等(億円)

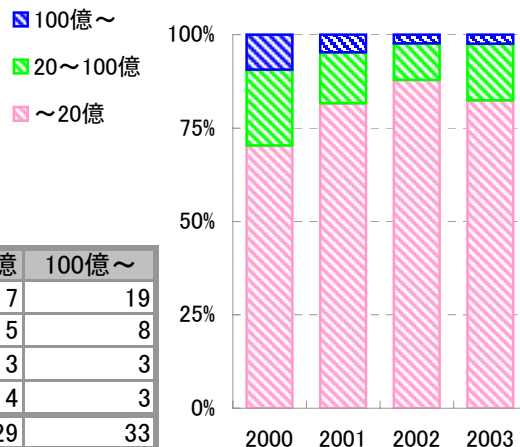
年	平均	最大	最小
2000	45	1,280	1.0
2001	23	516	0.7
2002	13	233	0.8
2003	29	1,040	0.6

(注)公募実施会社のみ対象

図表2-6 株式公開時調達額の区分ごとの会社数(社数)

年	~5億	5~10億	10~20億	20~50億	50~100億	100億~
2000	54	48	40	24	17	19
2001	71	34	32	18	5	8
2002	66	25	17	9	3	3
2003	52	29	17	14	4	3
	243	136	106	65	29	33

(注)公募実施会社のみ対象



(注)上記データは、株価、調達額は2003/12/22時点、会社数は2003/12/24時点。

このレポートは経営に関し一般に参考となると考えられる情報の提供を目的としたもので、投資判断の参考となる情報の提供および投資勧誘を目的としたものではありません。資料の作成に際しましては、発行会社の公表資料等、一般に公開され、信頼できると判断した情報源から入手したものを利用しておりますが、資料の正確性、完全性を保証するものではありません。